

平成23年度 第4回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成23年9月13日（火）13：30～15：30
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名
事務局 中央公民館長、館長補佐、管理係長、分館主査9名（欠席1名）
- 4 傍聴者 0名
- 5 配布資料 (1) 平成23年度第3回公民館運営審議会会議録・・・・・・・・・・資料1
(2) 平成23年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・・・・・・・・資料2
(3) 公民館運営審議会委員研修会について・・・・・・・・・・資料3
(4) 公民館講座のための意見交換会日程表・・・・・・・・・・資料4
(5) 夏休み学習室利用状況表・・・・・・・・・・資料5
(6) 公民館電気使用量 前年比（7月から9月）・・・・・・・・・・資料6
(7) 冊子『小平市の教育』・・・・・・・・・・資料7
- 6 次第 (1) 開会
(2) 配布資料の確認
(3) 館長報告
(4) 平成23年度定期講座の実施状況について（資料2）
(5) 公民館運営審議会委員研修会について（資料3）
(6) 公民館講座のための意見交換会について（資料4）
(7) 夏休み学習室の開放について（資料5）
(8) 公民館の節電状況について（資料6）
(9) その他
(10) 閉会

会議の概要

- 1 開会
- 2 配布資料の確認
- 3 館長報告

9月10日に行われた友・遊まつりは、天候に恵まれ、エコフェスティバルと重なったことや、館外に水族館をつくるなどの職員の提案が好評をいただいたこともあり、多くの方に来場いただいた。かねてから注目していた中学生の参加もあり、盛り上がった。来年もさらに盛り上げ、一人でも多くの方に参加いただきたい。

(1) 平成23年9月定例会について

公民館に関する一般質問が以下の3問あった。

- ①公民館の耐震について。事業活動、公民館まつり、講座等の現状について。公民館の合併、廃止について。
- ②磁気ループを活用し、聴覚障がい者と中途失聴者に聞こえのバリアフリーの実現に向けて、仲町公民館をはじめとする、今後新設する施設への磁気ループの設置について。
- ③市内の公共施設への公衆無線LANの設置、小型無線端末機器の導入、インターネット接続パソコンの設置について。特に、中央公民館の公衆無線LANの設置の可能性について。

本議会において上程された補正予算案において、事務室の蛍光灯をHF蛍光灯にし、プルスイッチを導入するための修繕料を補正した。これに関連し、今年度は、ダウンライト型白熱電球をLED電球に交換した。

(2) 平成23年度事業仕分け第2次検討について

公民館の「視聴覚教育事業」について、委員全員一致で、「市（要改善）」という結果になった。

(3) 人事について

8月に管理係長が復職した。小川西町公民館管理嘱託職員1名が7月に退職し、9月に後任が配属された。

4 平成 23 年度定期講座の実施状況について

資料 3 より説明。

- ・成人団体養成講座「私たちの地域からはじめる国際協力プロジェクト」
「国際協力の展示会と不用品回収イベント」を開催した。現在、受講生に新たなメンバーを加えて活動を継続している。イベントからさらに発展していく今回のような「参加型の講座」は、これからの講座の一つのスタイルとして考えている。〈中央〉
- ・家庭教育講座「わが子もいつかは中高生」
小平第二中学校、白梅学園高等学校と連携し、中高生と乳幼児、母親の交流を取り入れた新たな取り組みとなっている。〈中央〉
- ・家庭教育講座「父親のための読み聞かせ講座」
赤ちゃんと母親のための家庭教育講座が好評だったことを受け、父親のための家庭教育講座を新たに設けた。〈花南〉
- ・ジュニア講座「お年寄りにやさしい街って？」
子ども向けに、介護をテーマとして、めがねや重りをつけて高齢者の日常生活の動作を体験することを交えた講座を実施した。〈大沼〉
- ・市民講座「みんなで育てよう 高齢者を見守る地域の絆」
講座の実施を機に、サークルが立ち上がり、地域の中で、防災や福祉の連携を深める動きが出てきた。〈鈴木〉

(質疑応答)

委員 講座の講師は誰がどこで決めるのか。仕組みはどうなっているのか。

事務局 講座終了後のアンケート調査や、「講座のための意見交換会」での市民の意見等を参考に、求められる課題やテーマに対して職員が講座を企画する。その過程で、講師を選定している。最終的にテーマに沿った適正な内容や講師であるかを判断の上、館長が決定する。

委員 パソコン講座は、毎年同じグループが講師を務めているが、常にこのグループで良いか、検討はしているか。

事務局 毎年度検討した結果である。今年度は別の団体も講師としている。

委員 公民館の講座を受講し、非常に勉強になったが、担当職員から、講座終了後の活動やサークル化などについて、受講生に対して声かけがほしかった。また、

子ども向けの講座は、チラシやポスターが難しいと、なかなか受講生が集まらないのではないかと。広報のやり方も含めて工夫をしてほしい。

5 公民館運営審議会委員研修会について
資料3より説明。

6 公民館講座のための意見交換会について
資料4より説明。

7 夏休み学習室の開放について
資料5より説明。

1日の平均人数は、昨年比において若干減少したが、図書館との併設館において、比較的用户が多い傾向にあった。一般の社会人の利用も多く見られた。希望者が多い場合は、空いている部屋を追加で学習室として対応した。

(意見等)

委員 夏休み学習室を開放する以上は、多くの人に利用してほしい。例えば、辞書やパソコンを設置するなど、そのための対策を講じるべきではないか。

委員 学習する場を提供するだけでなく、公民館で勉強の仕方をアドバイスすることも必要ではないか。

委員 勉強の仕方をアドバイスすることは公民館の役割ではない。

委員 公民館が夏休み学習室を開放することで、子どもにとっては、夏休みの学習の場の選択肢が一つ増えた。夏の非常に暑い中、良い環境で学習できる場の提供だけでも非常にありがたい。

事務局 公民館としても、8月はサークルの利用が減り、図書館が非常に混雑するため、施設の有効活用として実施している。

8 公民館の節電状況について
資料6より説明。

9 その他

委員 ボランティア団体から公民館利用団体に対してのイベント参加依頼について、公民館だより等に掲載できないか。

事務局 告知できるようなスペースの確保を検討したい。また別の方法として、具体的な内容が分かれば、分館を通して声かけすることもできる。講座から派生したサークルが、いずれは社会参加、地域参加していくシステムづくりの一環として考えていきたい。

10 閉会

次回は、12月13日（火） 13：30 から開催する。